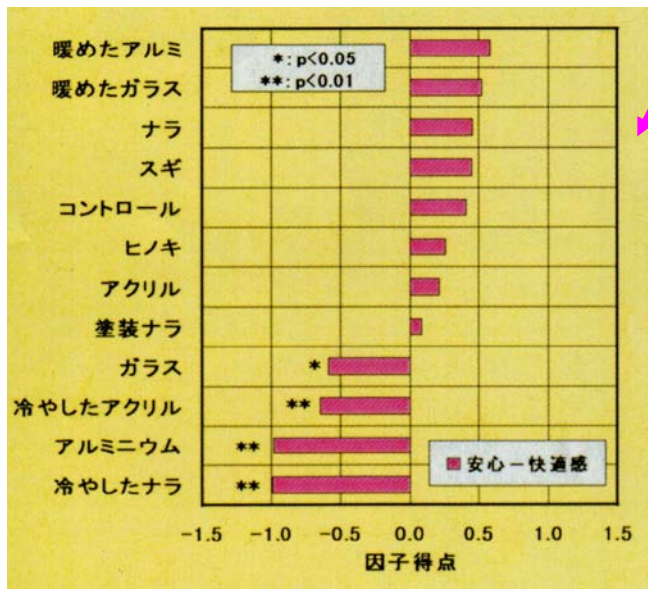
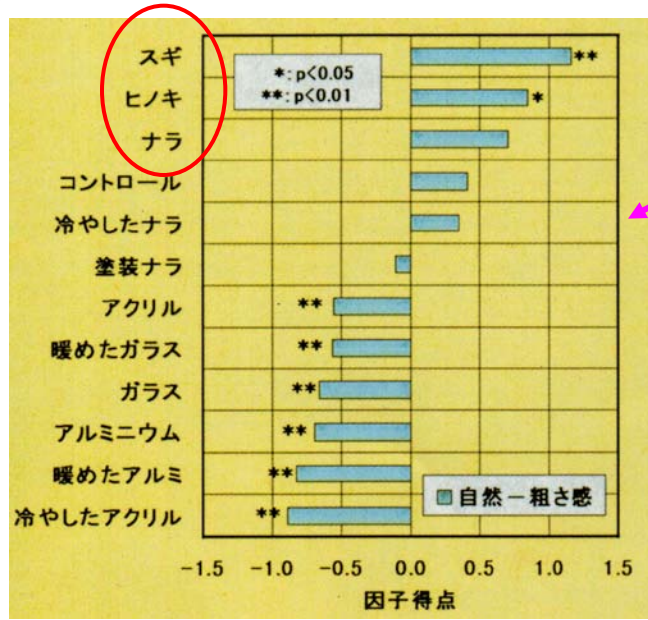


# 4. 素材に触れたときの官能検査

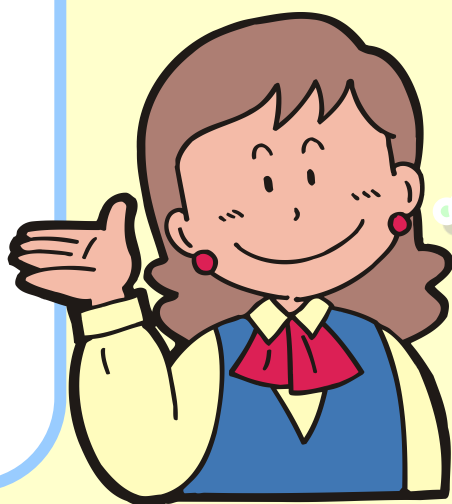


▶ **木材**は、適度な粗さ感により**自然な印象**を与え、**安心で快適**であると感じます

▶ **アクリル、ガラス、アルミニウム**は、平滑で人工的、**危険で不快な印象**を与えます

▶ **木材**や**アクリル**は、材温が低いと**危険で不快**と感じ、**ガラス**や**アルミニウム**は**材温を上げる**ことで**安心 - 快適感**が増加します

▶ **金属**や**ガラス**は暖めても人工的であると感じているのに対し、**木材**は**冷やしても自然な感じ**を与えていることがわかります



被験者は目隠しをされていて、何に触っているのかわかりません